

---

# 作文

聖魔光闇

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

作文

### 【Nコード】

N0825R

### 【作者名】

聖魔光闇

### 【あらすじ】

今日の宿題は余裕で終わる。

(前書き)

何か間違えてる？

俺の家族を紹介します。

初めにアネキ。いつも俺の事をバカにしてくる。遠回しに言うので、腹が立つ事もしばしば。でも、仲が悪い訳ではない。俺はそう思っている。

次に母さん。どこから見ても、ただの天然。姉の言う事も、俺の言う事も聞いてるようで聞いてない。天然だから、突然訳のわからない事を言うこともよくある。

そして父さん。仕事以外は、ただのバカ。俺が言うのも何だけど、家族の前で意味不明な事を言ったり、突然とんでもない事をする。よくあれで、大黒柱が務まるなあ。

そして俺。この家の中で一番マトモ。考え方もやる事も。マトモ過ぎて、マトモじゃない人達には理解出来ないようだけど。

「ねえあんた。何してんの？」

『ほら来た。毎回の事ながら、この女はノックも知らねえのか！』

突然俺の横に現れた姉が尋ねてきた。

「何って宿題の作文」

今日はかなりマトモな事を言っている筈なので、姉は何も言い返せない筈だった。

「作文つて……。家族の紹介してどうするのよ！ しかも、むちゃくちゃな」

勝手に入ってきた挙げ句の果てに、勝手に人の作文を読んで、何かほざいてやがる。

「作文つて、文を作るから作文だろ。じゃあ、これだって立派な作文じゃねえか！」

今回の俺はマトモだ。胸を張ってそう思った。しかし姉は、

「あんた、相当のバカだわ……」

そう言い残して部屋から出ていった。

『あの女は……。いつもいつも。言いたい事言っ出ていきやがる。でも……。俺、何か間違えてるのか？』

(後書き)

アネキと俺。どっちが正しいの？

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0825r/>

---

作文

2011年10月8日01時22分発行